



## かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)

### 【 2018年度 年次報告書 】

《2018年度(H30)活動実績・2019年度(R01)活動計画》

2019年4月1日

(更新：2019年6月10日 v8.1)





## 目次

<b>1</b>	<b>当団体について</b> .....	<b>2</b>
1.1	設立趣旨書 .....	3
1.2	活動基本 .....	4
1.3	活動方針 .....	5
1.4	活動実績 .....	6
1.5	組織概要 .....	22
1.6	会員制度 .....	22
1.7	団体登録先・情報登録先 .....	22
1.8	当団体運営 .....	23
<b>2</b>	<b>2018年度活動実績（平成30年度）</b> .....	<b>24</b>
2.1	福島の課題 .....	24
2.2	活動方針 .....	24
2.3	活動目的 .....	24
2.4	全体事業実績（概要） .....	26
2.5	事業詳細 .....	28
2.6	2018年度の役員・スタッフ .....	38
2.7	2018年度総括（平成30年度） .....	39
<b>3</b>	<b>2019年度活動計画（令和元年）</b> .....	<b>40</b>
3.1	はじめに .....	40
3.2	福島の課題 .....	40
3.3	活動方針 .....	41
3.4	活動目的 .....	41
3.5	全体事業計画（概要） .....	43
3.6	事業詳細 .....	45
3.7	2019年度の役員・スタッフ .....	51
3.8	最後に .....	52
<b>4</b>	<b>補足資料</b> .....	<b>53</b>
4.1	活動様子（事業毎の記録写真） .....	53
4.2	活動日程（計画、一部抜粋、状況により変更あり） .....	59



## 1 当団体について

当団体は、ボランティアとして2011年5月より岩手県に3分の1、宮城県に3分の1、そして福島には個人で3分の1として福島応援の活動を進め、2011年10月より福島応援隊として有志の応援をいただき活動をさらに一歩前に進め、2012年1月11日に“kfop”を設立しました。

活動に当たっては、設立前の約半年間、福島にボランティアバスを出すべく、事前準備を進めましたが、福島へバスをなかなか出していただけでない現実、ボランティアバスを出すことへの理解がなかなか得られない現実、活動に理解がなかなか得られない現実がありました。そんな環境の中、バスは横浜の『[シティアkses株式会社](#)』様に出していただきました。活動先はスタッフが現地に赴き、受け入れ調整をさせていただきました。

設立当初の2012年度の主な活動としては

### (1) 現地活動

福島市の[福島市社会福祉協議会](#)募集のボランティア（渡利地区、大波地区）。  
福島市の任意団体の復興応援活動（借上げ住宅・近隣にお住まいの皆様、応急仮設住宅に）。  
南相馬市の鹿島区社会福祉協議会募集による小高区での屋外活動（山側、海側、街中）。  
南会津での大熊町の子どもたちを対象とするイベント支援活動。  
最終の福島12便は、[福島復興プロジェクトチーム「花に願いを」](#)で活動。

### (2) 県内活動（神奈川県内での活動）

神奈川県内に避難を余儀なくされている皆様へのお手伝い、避難されている方々の気持ちは私たちに十分には分からないかも知れませんが、少しでも近づければ、との気持ちで。  
かながわ東日本大震災県内避難者支援ネットワークに協力し、弁護士よろず相談会。  
同、町別（浪江町、双葉町、富岡町、楡葉町、大熊町）交流会。  
同、また共催し「ふるさとコミュニティ in かながわ」の県内全体の交流会。  
など、活動および協力ができました。

### (3) 当団体の応援者は

2012年1月末時点で48名、2013年3月末に置いては167名（内会員は119名）と多くの方に応援をいただくことができました。2019年3月31日の登録メンバーは325名。

2012年度から、現在までの[活動履歴](#)は当団体HPに掲載しています。

2019年度も継続し、福島の応援を続けていく。

ご参加いただきました皆様、応援をいただきました皆様、寄付をいただきました皆様、支援金をいただきました皆様、そして私たちを受け入れてくださいました現地の皆様、交流会にお越しいただきました避難されている皆様（県外からもお越しいただきました）、同じく交流会にご協力をいただきました行政の皆様に感謝いたします。

かながわ「福島応援」プロジェクト  
代表 渡辺孝彦



## 1.1 設立趣旨書

### 1.1.1 趣旨

2011年3月11日に地震と津波による被害を受けた東京電力第一原子力発電所は、全電源を喪失して原子炉の冷却ができなくなり、大量の放射性物質放出を伴う重大な原子力事故に発展した。これにより浜通り地域を中心に、周辺地帯の住民は長期の避難と、福島県の住民へのいわれなき差別、いじめ、風評被害、観光の打撃と、今も大きな苦難を強いられています。

かながわの「かながわ東日本大震災ボランティアステーション」では岩手県・宮城県に向けて活発な支援が続けられていますが、福島県への支援は今なお実現していません。

また、福島県は今もなお復旧に至らず、復興ままならない状況下にあります。

その中で、福島県に住んでいる方々、福島県から避難される方それぞれの方へ応援をしていきたい。神奈川県から「福島を応援する」その主旨で、かながわ「福島応援」プロジェクトを設立するものです。

### 1.1.2 活動

- (1) 直接活動（家屋内外の片付け、街中掃除、仮設訪問、子どもたち支援等をしていきたい）
- (2) 県内支援（神奈川県内、関東圏に避難されている方へのお手伝い）※1
- (3) 情報発信（福島県での活動、観光情報、温泉情報、特産物情報、など発信したい）
- (4) 災害復旧支援（地域を特定せず、台風や豪雨等の自然災害による甚大被害が発生したとき、現地の要請に基づきその復旧支援等を行う。）※2

を行い、今までと同じように笑顔があふれ、子どもたちも楽しく・のびのびと遊んでいる福島県であることを願い活動を展開し、また、神奈川県から応援の輪を広げるために、多くの方の参加者を募り活動していきたい。

1：(2)の県内支援活動は設立当初はなく、私たちは現地福島に直接行きお手伝いする、神奈川県内に避難されている方のことは神奈川県に住む方で応援してほしい。その思いでありましたが、県内での応援もまだまだ十分ではなく、必要、と感じ2012年度に活動を追加したものです。

※2：(4)の災害復旧支援は平成27年台風第18号を受け2016年度に明確化した。

### 1.1.3 経緯

- |             |                                  |
|-------------|----------------------------------|
| 2011年10月11日 | ボラステ※3のボランティア活動と平行して活動を開始（発起）    |
| 2011年10月29日 | ボラステのボラバスチームメンバー参加により福島市ボランティア参加 |
| 2011年12月28日 | スタッフ含めた参加者の募集、本格設立へ行動（36人が賛同）    |
| 2012年1月9日   | 初会合（賛同出席者16名）                    |
| 2012年1月11日  | 設立日とする。                          |

※3：ボラステとは「かながわ東日本大震災ボランティアステーション」のこと。

2011.10.11

かながわ「福島応援」プロジェクト  
設立代表 渡辺 孝彦

## 1.2 活動基本

かながわから福島を応援します。

非営利の任意ボランティア団体として、現地活動（福島県内での活動）、県内活動（神奈川県内を含む関東圏での活動）、情報発信（広く一般の方に）の3つを活動の基本、柱として、できることを少しずつでも進めます。

### 1.2.1 現地活動

福島県から避難される方、避難されている方、福島県に住む方へできることのお手伝いを現地で直接行う。他団体へ参加、連携を含めて福島復興、元気につながる活動を行う。

- (1) 県民が生活される場の街中掃除等ボランティア活動
- (2) 福島県内のご自宅の庭の手入れ・家屋内の片付けなど
- (3) 仮設住宅、借上げ住宅、新たな住居に住まわれている方へのボランティア活動など
- (4) 福島の地域復興の応援。

### 1.2.2 県内活動

神奈川県および近郊に避難されている方の交流会、お手伝い。および被災地自治体、団体・神奈川県内の自治体、団体とのつなぎ手として支える活動を行う。

### 1.2.3 情報発信

福島県でのボランティア活動、観光情報、温泉情報、特産品情報など「現地活動」「視察研修」「講演会」「美味しいふくしま伝え隊」などを通して福島の元気に、笑顔につながる情報を発信する。

### 1.2.4 災害復旧支援

地域を固定せず、台風や豪雨等の自然災害による甚大被害が発生した際には、現地の要請に基づきその復旧支援等を行う。

そして、今までと同じように笑顔があふれ、子どもたちも楽しく・のびのびと遊んでいる福島であることを願います。

さらに、神奈川からつながりの輪が大きくなり、多くの方に福島を訪れていただけることを願います。

## 1.3 活動方針

### 1.3.1 長期的方針

私たちは、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故によりいまだ大きな苦難の中にある福島を長期にわたって応援し続けるために、持続可能な事業計画と予算計画を立てて団体としての活動を維持します。

いずれの活動についても、当事者の方々が必要とする支援や環境は時間とともに変化します。特に相双地域では避難区域の解除が進み、さまざまな課題が発生してくると見られます。そうした変化を理解し、柔軟に対応できる体制、予算的な余裕、他団体とのつながりも必要です。その一貫として、現地の状況を把握するための情報収集、現地の行政や民間団体とのつながりの維持を目的とした現地訪問や会議への参加も積極的に行います。

同時に、神奈川をベースとしながら長期的に現地に関わっていける連携先も模索していきます。

#### (1) 当団体は、黙々と活動を行う

何が無くても福島に行く、その心づもりが基本となります。

福島の復旧・復興を願う。

福島の観光・温泉・果物・農産物などの応援をする。

福島の子どもたち、避難を余儀なくされている皆様に少しでも応援になることをする（重きを置くこと）。

#### (2) 福島の活動においては、ご家族の理解も得て行う

#### (3) また、スタッフ、参加者ともに無理はしない

できることを

できるときに

できる範囲で

#### (4) 活動のすべて

[kfop 日程表](#)、[プロフィール](#)、[活動内容](#)、[設立趣旨](#)、[本会規約](#)、[事業計画](#)、[活動履歴](#)、[会員募集](#)、[ご寄付](#)、[会計（事業会計・会計報告）](#)

[ボランティア募集情報](#)

[活動様子](#)

など、長く福島の応援を続けることができるために、すべての情報を、当団体の HP で公開しています。



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
 ≪2018年度(H30)活動実績・2019年度(R01)活動計画≫

## 1.4 活動実績

### 1.4.1 現地活動

年度	活動先	実施回数	参加者数
2011	小名浜復興センターボランティア	毎週末	(1名)
	いわき市復興センターボランティア	毎週末	(1名)
2011	福島市大波地区ボランティア	6回	29名
	小計	6回	29名
2012	福島市渡利地区ボランティアバス	3回	57名
	福島市復興応援ボランティアバス	6回	155名
	南相馬市小高区ボランティアバス	2回	67名
	会津若松市(大熊町)ボランティア	1回	6名
	福島市「花に願いを」ボランティアバス	1回	22名
	小計	13回	307名
2013	福島市渡利「花見山公園」花見バス	1回	23名
	福島市「花に願いを」ボランティアバス	10回	130名
	静岡県西伊豆町水害ボランティアバス	2回	21名
	南相馬市小高区ボランティアバス	6回	99名
	小計	19回	252名
2014	福島市渡利「花見山公園」花見バス	1回	17名
	福島市「花に願いを」ボランティアバス	2回	4名
	南相馬市小高区ボランティアバス	10回	159名
	福島県内応急仮設住宅等訪問	4回	5名
	小計	17回	185名
2015	視察研修便(富岡町、大熊町)	2回	37名
	南相馬市小高区ボランティアバス	10回	160名
	川内村訪問・支援活動	1回	6名
	現地自治体等訪問(現地訪問)除く講演依頼等	1回	2名
	双葉郡未来会議	1回	2名
	小計	15回	207名
2016	南相馬市小高区ボランティアバス	8回	129名
	視察研修便(双葉町、浪江町)	2回	41名
	その他現地活動(含む有志野馬追)※事業外	4回	13名
	災害復旧支援(発生時)	0回	0名
	現地自治体等訪問(維持管理)除く講演依頼等	1回	2名
	小計	15回	185名



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
《2018年度(H30)活動実績・2019年度(R01)活動計画》

年度	活動先	実施回数	参加者数
2017	南相馬市小高区ボランティアバス (バス便)	5回	82名
	南相馬市小高区ボランティア (広域便)	9回	63名
	視察研修便 (川内村・葛尾村)	1回	17名
	現地自治体等訪問 (維持管理)	3回	6名
	その他現地活動(相双ボラ、野馬追等) ※事業外	2回	8名
	小計		20回
2018	浪江町ボランティア (バス便・広域便)	8回	81名
	浪江町ボランティア (相双ボランティア)	1回	8名
	川内村ボランティア (広域便)	4回	27名
	葛尾村ボランティア (広域便)	2回	18名
	視察研修便 (相馬市、新地町)	1回	10名
	その他(原発視察、相馬野馬追、金水晶田植え等)	4回	16名
	福島訪問 (維持管理他)	4回	8名
	小計		24回
全体合計 (概数)		129回	1,509名





かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
 ≪2018年度(H30)活動実績・2019年度(R01)活動計画≫

1.4.2 連携活動

年度	活動先	実施回数	参加者数
2011	冬物衣料お渡し参加 (チームぼかぼか)	1回	1人
	福島キッズスタッフ参加 (福島キッズ)	3回	3人
	ふくしまボランティアフェスティバル (飯坂)	1回	6名
	Epc 福島に寄り添う会 (青山国際大学)	2回	1名
2012	Epc 福島に寄り添う会 (青山国際大学)	1回	1名
	大波城址ひまわり播種 (大波地区)	2回	5名
	福島キッズスタッフ参加 (福島キッズ)	3回	3名
	郡山市開成高校演劇	1回	1名
	福島シネマプロジェクト (飯坂温泉)	1回	2名
	神奈川建築安全協会 (活動報告会)	1回	3名
	第1回「ふるさとコミュニティ in かながわ」	1回	共催
	第2回「ふるさとコミュニティ in かながわ」	1回	共催
	町別交流懇談会・”しゃべりば”・弁護士相談会	22回	協力
2013	南相馬市応急仮設住宅	1回	3名
	ふるさとバス	2回	協力
	第3回「ふるさとコミュニティ in かながわ」	1回	共催
	第4回「ふるさとコミュニティ in かながわ」	1回	共催
	町別交流懇談会・お茶っこ会	12回	協力
	福島の食と地酒を楽しむ会 (日経ホール)	1回	7名
	分かち合いセミナー (飯田橋)	1回	3名
2014	第5回「ふるさとコミュニティ in かながわ」	1回	共催
	第6回「ふるさとコミュニティ in かながわ」	1回	共催
	町別交流懇談会・お茶っこ会等	20回	協力
2015	特定非営利法人かながわ避難者と共にあゆむ会	各回	各人
	避難者交流の場「ふれ愛」	1回	2名
	町田餅つき	1回	2名
	双葉郡未来会議 (郡山)	1回	2名



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
 ≪2018年度(H30)活動実績・2019年度(R01)活動計画≫

年度	活動先	実施回数	参加者数
2016	特定非営利法人かながわ避難者と共にあゆむ会	各回	各人
	古殿町 (田植え・稲刈り・案山子作り)	1回	2名
	南相馬市交流懇談会 (南相馬市協力依頼)	2回	6名
	相馬野馬追	1回	6名
	ふるさと未来創造会議 (葛尾村)	1回	1名
	相模原市交流会 (ぶーたん)	1回	2名
	着付け・写真撮影 (相模女子短大)	1回	2名
	双葉八町村会議 (広野町)	1回	2名
	相双ボランティア	1回	2名
	そうま食べる通信 (横浜)	1回	2名
	JCN・や・ゆ・よ・Skype 会議	1回	1名
2017	特定非営利法人かながわ避難者と共にあゆむ会	各回	各人
	端数倶楽部 MTG (県サポ)	1回	5名
	端数倶楽部運営委員会 (活動紹介)	1回	1名
	相馬野馬追	1回	6名
	バス運営セミナー (TVAC)	1回	1名
	大熊町ふるさと応援隊 (活動報告会協力)	1回	3名
	南相馬市社協感謝祭	1回	2名
2018	特定非営利法人かながわ避難者と共にあゆむ会	各回	各人
	とみおかさんがねか? (町田)	1回	2名
	相馬野馬追	1回	5名
	原発視察参加	1回	8名
	葛尾村 結の米作り (下枝様)	2回	18名
	F's pocket 金水晶稲刈り	1回	2名
	葛尾村イベント (秋葉原)	1回	3名
	葛尾村の新米を食べる (下枝様)	1回	4名
	アズビル (株) 伊勢原工場 防災講話(講師紹介)	1回	1名
	H.I.S ふくしま感謝祭 (菅野様)	1回	2名
	ソトコト取材	1回	2名
	おだかぷらっとほーむ (わんこそば、廣畑様)	1回	2名
	上映「新地町の漁師たち」	1回	30名



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
 ≪2018年度(H30)活動実績・2019年度(R01)活動計画≫

1.4.3 視察研修

年度	実施日	視察先	参加者	協力
2015	2015. 4. 11-12 (1号)	富岡町	20人	富岡町 株式会社 報徳観光 白鳥温泉 春木屋旅館 特定非営利活動法人ザ・ピープル
	2015. 10. 24-25 (2号)	大熊町	17人	大熊町、大川原復興拠点 特定非営利活動法人 大熊町ふるさと応援隊 好間工業団地第三応急仮設住宅自治会 Jヴィレッジ、福島給食センター 株式会社 報徳観光 白鳥温泉 春木屋旅館
2016	2016. 5. 28-29 (3号)	双葉町	20人	双葉町 いわき・まごころ双葉会 田人おふくろの宿 シティアクセス株式会社
	2016. 10. 22-23 (4号)	浪江町	21人	浪江町 社会福祉法人 浪江町社会福祉協議会 大堀相馬焼協同組合 陶芸の杜 おおぼり 二本松 工房 ヘルシーパルあだたら シティアクセス株式会社
2017	2017. 10. 28 (5号)	葛尾村	17人	一般社団法人 葛力創造舎 代表理事 下枝浩徳様 葛尾村 社会福祉法人 葛尾村社会福祉協議会 松本邦久様 (実証田圃場) 川島博幸様 (地元の方、葛尾村社協職員) カフェ嵐が丘 堀江安則様、みどり様 みどりの里 せせらぎ荘
	2017. 10. 29 (5号)	川内村	17人	川内村商工会 会長 井出茂 様 川内村 井出寿一 様 (元・川内村復興課長、現・福島発 電株式会社 浜通り事務所 所長) 秋元洋子 様 (元・川内へ迎える会 会長、現・川 内村婦人会 会長) かわうちワイン株式会社 社長 高木亨 様 いわなの郷 (コテージ、レストラン幻魚亭) Café Amazon (コドモエナジー株式会社 川内第 一工場長 川口司朗 様)



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
《2018年度(H30)活動実績・2019年度(R01)活動計画》

年度	実施日	視察先	参加者	協力
2018	2019.02.17 (6号)	相馬市	10人	相馬市 企画制作部 企画政策課 課長補佐兼復興推進 係長 荒川誠 様 企画制作部 企画政策課 復興推進係 主査 星杏奈 様 千客万来館 管野昌孝 様(相馬観光復興御案内 処) 復興支援員 主任 井島順子 様 小幡 広宣 様(そうま食べる通信共同編集長/ 株式会社広栄土木 代表取締役) ホテルみなとや (女将 管野忍様) 一般社団法人そうま食べる通信 (常世田 隆様、 飯塚哲生様、黒田夏貴様)
	2019.02.18 (6号)	新地町	10人	新地町 復興推進課 専門官 加藤泉 様 復興推進課 専門官 吉本幸弘 様 復興推進課 コミュニティ支援員 川上照美 様



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
 ≪2018年度(H30)活動実績・2019年度(R01)活動計画≫

1.4.4 講演会・勉強会（情報発信）

年度	実施日	講演内容
2015	2016. 1. 9 第1回 (講演会)	タイトル：南相馬の今 わたしたちにできること
		講師：小高区役所長 村田博 氏 / 課長補佐 根本剛実 氏 南相馬市災害復旧復興ボランティアセンター長 鈴木敦子 氏 進行：NPO 法人日本ファシリテーション協会 災害復興支援室 杉村郁雄 氏
		場所：かながわ県民センター2階ホール
		協力：南相馬市 社会福祉法人南相馬市社会福祉協議会、 神奈川県立かながわ県民活動サポートセンター 社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会 (FAJ)
		広報協力：特定非営利活動法人かながわ避難者と共にあゆむ会 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク かながわ災害ボランティアバスチーム チームかながわ SUN
参加者数：第一部 114 人、第二部 60 人		
2016	2016. 6. 25 第2回 (講演会)	タイトル：避難指示解除後の檜葉町から語り部をお迎えして
		講師：高原カネ子さん (一般社団法人ならはみらい所属 ならはふるさと案内人)
		進行：東 尚子
		会場：鶴見公会堂 第1・第2会議室
		後援：檜葉町
		協力：一般社団法人ならはみらい 特定非営利活動法人かながわ避難者と共にあゆむ会
講演会参加者数：33 人 懇親会参加者数：16 人		
2017. 1. 14 第3回 (講演会)	2017. 1. 14 第3回 (講演会)	タイトル：福島のを伝える講演会「地域ではぐくむ創造の芽吹き」
		講師：廣田拓也さん (二本松市、株式会社 GNS 常務取締役) 和田智行さん (南相馬市、小高ワーカーズベース代表) 下枝浩徳さん (葛尾村、葛力創造舎代表、双葉郡未来会議)
		ファシリテーター：鈴木まり子様 (特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会 (FAJ) )
会場：かながわ県民センター2F ホール 懇親会 (PRONTO プロント 横浜京急 EX イン店)		



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
 ≪2018 年度(H30)活動実績・2019 年度(R01)活動計画≫

年度	実施日	講演内容
		<p>共催：特定非営利活動法人かながわ避難者と共にあゆむ会            認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク            かながわ災害ボランティアバスチーム</p> <p>協賛：azbil みつばち倶楽部            シティアクセス株式会社</p> <p>協力：かながわ県民活動サポートセンター (=神奈川県)            かながわ東北ふるさと・つなぐ会            特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会 (FAJ)            公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会            一般社団法人葛力創造舎            株式会社小高ワーカーズベース            株式会社 GNS            特定非営利活動法人リーフ (Leaf)</p> <p>後援：福島県、二本松市、南相馬市、葛尾村、社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会、一般財団法人 神奈川県建築安全協会</p> <p>講演会参加者数：94 人            懇親会参加者数：42 人</p>
2017	2017. 6. 24 第 4 回 (勉強会)	タイトル： 「富岡町の現状と展望」
		講師：菅野利行さん (富岡町 参事兼郡山支所長)
進行：東 尚子		
場所：鶴見公会堂 第 3 会議室		
後援：富岡町		
		勉強会参加者数：27 人 (うち kfop 会員 20 人、一般 7 人) 懇親会参加者数：22 人
2018. 1. 20 第 5 回 (講演会)		タイトル：ふくしまの農と人をつながる講演会
		講師：第一部 菅野瑞穂さん (きぼうのたねカンパニー株式会社 代表取締役) 第二部 廣野晶彦さん (あぶくまカットフラワーグループ、花卉栽培農家) 菅野瑞穂さん (きぼうのたねカンパニー株式会社 代表取締役)
		進行：第一部 東 尚子 第二部 菅野瑞穂さん
		場所：八洲学園大学 7 階 7A 会議室



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
 ≪2018年度(H30)活動実績・2019年度(R01)活動計画≫

年度	実施日	講演内容
		共催：かながわ「福島応援」プロジェクト 富士ゼロックス株式会社 端数倶楽部 協力：特定非営利活動法人かながわ避難者と共にあゆむ会 認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク かながわ災害ボランティアバスチーム 合同会社ふくわらい 協賛：azbil みつばち倶楽部 後援：神奈川県 物販：きぼうのたねカンパニー株式会社 合同会社ふくわらい 講演会参加者数：53人（うち一般33人、登壇・スタッフ20人） 懇親会参加者数：28人
2018	2018. 6. 23 第6回 (勉強会)	タイトル：「全町避難から避難指示解除後、現在に至るまでの浪江町の状況と町民の生活再建に向けた浪江町の取り組み」 講師：宮口勝美さん（浪江町副町長） 進行：東 尚子 場所：八洲学園大学 7階 7A 会議室 後援：浪江町 勉強会参加者数：27人（うち kfop 会員 23人、一般 4人） 懇親会参加者数：19人
		タイトル：「地域をもっと良くするために！アクションを起こして可能性の種をまく」 講師：第一部 小幡広宣さん （一般社団法人そうま食べる通信共同編集長、広栄土木株式会社 代表取締役） 第二部 小幡さんにここが聞きたい！ （全員、意見交換） 進行：第一部 東 尚子 第二部 東 尚子 場所：かながわ県民活動サポートセンター 3階 305 会議室
2019. 1. 17		
第7回		
(講演会)		



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
《2018年度(H30)活動実績・2019年度(R01)活動計画》

年度	実施日	講演内容
		共催：かながわ「福島応援」プロジェクト 富士ゼロックス株式会社 端数倶楽部 協力：一般社団法人そうま食べる通信 認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク 特定非営利活動法人かながわ避難者と共にあゆむ会 かながわ東北ふるさと・つなぐ会 特定非営利活動法人神奈川災害ボランティアネットワーク かながわ災害ボランティアバスチーム 協賛：azbil みつばち倶楽部 後援：神奈川県、相馬市
		講演会参加者数：43 人（うち一般 21 人、登壇・スタッフ 22 人） 懇親会参加者数：17 人





かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
《2018年度(H30)活動実績・2019年度(R01)活動計画》

1.4.5 災害復旧支援（主に参加活動）

年度	活動先	実施回数	参加者数
2011	台風 15 号水害支援（郡山市）	2 回	2 名
2013	西伊豆水害復旧支援（幼稚園）ボランティアバス（主催）	1 回	21 名
	市民活動フェア	1 回	1 名
2014	兵庫県丹波市水害支援（参加）	1 回	1 名
2015	栃木水害支援（参加）	2 回	2 名
	神奈川県台風支援 PJ 情報交換会	1 回	1 名
	常総被災地視察	1 回	1 名
	常総ボランティア（参加）	2 回	3 名
	市民活動フェア	1 回	10 名
2016	神奈川県災害救援訓練	1 回	1 名
	市民活動フェア	1 回	16 名
2017	神奈川県支援センター開設訓練	1 回	1 名
	市民活動フェア（311 ネット協力）	1 回	1 名
2018	西日本豪雨災害会議	1 回	2 名
	西日本豪雨倉敷ボランティア	5 回	6 名
	新しい市民活動フェア	3 回	1 名



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
 ≪2018年度(H30)活動実績・2019年度(R01)活動計画≫

1.4.6 維持管理（現地訪問）

年度	活動先	実施回数	参加者数
2011	福島県ボランティアセンター	1回	1名
	福島市社会福祉協議会	2回	2名
	安斎果樹園（飯坂）	1回	1名
	福島市役所	1回	1名
	福島ライフエイド	1回	1名
	福島屋台村	1回	1名
	ふくふくプロジェクト	1回	1名
2012	南相馬ボランティア活動センター	1回	4名
	南相馬市災害復旧復興ボランティアセンター	2回	2名
	フォレストパーク安達太良	1回	2名
	福島市役所	1回	3名
	大波上組営農（大波城址ひまわり）	1回	3名
	福島りょうぜん漬け本店	1回	3名
	福島県庁、浪江町役場（二本松）、富岡町役場（郡山） 花に願いを、花見山公園	1回 1回	1名 2名
2013	檜葉町役場、いわき市役所、富岡町役場	1回	2名
	花に願いを	2回	3名
	かながわ県民活動サポートセンター	1回	1名
	神奈川県庁	1回	2名
	南相馬市役所、南相馬市社協	1回	3名
	南相馬市役所、南相馬市社協、福島県庁、福島市役所、浪江町役場（二本松）、二本松市役所、浪江町社協（二本松）	1回 -	1名 -
	花見山公園弔問	1回	1名
	福島県社協、福島市社協、浪江町福島市出張所、笹谷東部仮設、福島大学ボラセン、浪江町役場（二本松）	1回 -	1名 -
	平沢応急仮設住宅（富岡町）、笹田東部応急仮設住宅	1回	1名
	南台応急仮設住宅（双葉町）	1回	3名
	相模原市社協、相模原市役所、相模原市災ボラ	1回	1名
2014	福島県庁、福島県社協、南相馬市役所、南相馬市社協	1回	1名
	azbil 面会	1回	1名
	日本橋ふくしま館	1回	1名
	大堀相馬焼協同組合（二本松）、旧松川小応急仮設住宅（飯舘村）、二本松農園、松川第一応急仮設住宅（飯舘村）、松川第二応急仮設住宅（飯舘村）、あぶくま茶屋（かーちゃんの力・プロジェクト）、小田部応急仮設受託、富岡町役場（郡山）	1回 - - - -	1名 - - - -



**かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)**  
 ≪2018年度(H30)活動実績・2019年度(R01)活動計画≫

年度	活動先	実施回数	参加者数	
2015	道の駅ふくしま東和、ななくさ農園、NPO 法人コースター、福島市社協、こらっせ福島、かーちゃんの力・プロジェクト協議会、浪江町役場、浪江町社協、大熊町役場、大熊町社協、大熊町ふるさと応援隊、双葉町役場	1回	2名	
	南相馬市小高区役所	1回	2名	
	FAJ (NPO センター)	2回	2名	
	双葉町役場	1回	2名	
			-	-
			-	-
2016	JTB コーポレートセールス横浜	1回	2名	
	浪江町役場、富岡町役場、葛尾村役場、広野町	1回	2名	
		1回	1名	
	一般社団法人葛力創造舎、川内村役場、川内村商工会議所、小高ワーカーズベース、大熊町応急仮設住宅	1回	2名	
		-	-	
	講演会共催依頼 (あゆむ会、311 ネット、ボラバス)	1回	2名	
	講演会協力依頼 (県サポ、つなぐ会、JC 青年会議所、廣田様)	1回	2名	
		-	-	
	講演会協賛依頼 (シティアクセス株、azbil株、JTB 横浜、神奈川県建築安全協会)	1回	2名	
	-	-		
FAJ (鈴木様) 県サポ	1回	2名		
2017	ふたすけ、浪江町社協、富岡町役場 (副町長)、福島市社協 (佐藤様)、こらっせ福島、福島東和、葛尾村、川内村、かわうちブドウ畑、川内村 Amazon、富岡町内	1回	2名	
		-	-	
		-	-	
	視察研修挨拶 (川内村役場 (副村長)、小松屋旅館、いわたの郷、葛尾村役場 (村長)、café 嵐が丘、葛尾村社協、石井食堂)	1回	2名	
		-	-	
		-	-	
	ふたすけ、富岡町役場 (副町長)、浪江町社協 (寄贈)、浪江町役場 (副町長)、小高区役所 (区役所長、蕎麦こごた、南相馬市役所、南相馬市社協、道の駅東和、菅野様)	1回	2名	
		-	-	
		-	-	
	浪江町社協 (寄贈)	1回	7名	



**かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)**  
 ≪2018年度(H30)活動実績・2019年度(R01)活動計画≫

年度	活動先	実施回数	参加者数
2018	いわき・双葉まごころ会（お見舞い）	1回	1名
	ふたすけ、浪江町役場（副町長）、小高区役所（区役所長）、南相馬市社協、江井さん（火事見舞い）、大熊町（市川さん）、双葉町役場（町長）	1回	2名
		-	-
		-	-
	ふたばいんふお、まちづくりなみえ	1回	2名
	ふたばいんふお／ふたすけ（平山さん、鈴木さん、下枝さん）、特定廃棄物埋立情報館リプルンふくしま、カフェy、浪江町役場（副町長、今野さん）、浪江町社協（畠山さん）、炙り侍 響（昼食）、南相馬市社協（広瀬常務、村上事務局長、鈴木さん）、おだかぷらっとほーむ（廣畑さん）、小高パイオニアヴィレッジ（場所と外観のみ確認）、小高ストア（場所と外観のみ確認）、小高区復興拠点施設「小高交流センター」、中間貯蔵工事情報センター、みんなの交流館 ならは CANvas（見学）、一般社団法人 葛力創造舎、田村市のみやこじスイーツゆい、川内村あれ・これ市場	1回	2名
		-	-
		-	-
		-	-
		-	-
		-	-
		-	-

**1.4.7 (参考)**

美味しいふくしま（有志活動）

本活動の費用など、当団体の運営費は一切使用していません。個人・有志活動です。

年度	実施日	会場	来場者	協力
2015	2015. 8. 3 17:00-22:00	復興バー銀座店 銀座	100人超	有志メンバー
2016	2016. 11. 9 17:00-22:00	復興バー@銀座 青山 TRUNK HOTEL	100人超	有志メンバー
2017	2017. 7. 8 15:00-21:30	復興バー@銀座 全国うまいもの交流サロン なみへい	100人超	有志メンバー
2018	2018.8.20 18:00-22:00	復興バー@銀座 秋葉原 日本百貨店食品館特設スペース	100人超	有志メンバー



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
 ≪2018年度(H30)活動実績・2019年度(R01)活動計画≫

### 1.4.8 ご寄付

寄付専用口座を持ち、HP掲載にて広く一般からの寄付（寄付・支援金・助成金）を受け入れる。ご寄付・支援金・助成金は、すべてHPに掲載し、その用途もすべて会計のHPに掲載する。

《ご寄付・支援金等実績》

年度	項目	金額	ご寄付・支援元
2012	寄付	403,822 円	一般の方からの寄付（お名前はHP掲載）
	助成金（寄付）	300,000 円	一般財団法人 神奈川県建築安全協会 様
2013	寄付	472,571 円	一般の方からの寄付（お名前はHP掲載）
	支援金（寄付）	300,000 円	リコー社会貢献クラブ・FreeWill 様
	助成金（寄付）	500,000 円	一般財団法人 神奈川県建築安全協会 様
	支援金（寄付）	100,000 円	富士ゼロックス神奈川(株)端数倶楽部 様 富士ゼロックス神奈川株式会社様（マッチング制度）
2014	寄付	253,545 円	一般の方からの寄付（お名前はHP掲載）
	助成金（寄付）	200,000 円	一般財団法人 神奈川県建築安全協会 様
	支援金（寄付）	200,000 円	azbil みつばち倶楽部 様 アズビル株式会社 様（マッチング制度）
2015	寄付	604,461 円	一般の方からの寄付（お名前はHP掲載）
	支援金（寄付）	200,000 円	azbil みつばち倶楽部 様 アズビル株式会社 様（マッチング制度）
	支援金（寄付）	100,000 円	富士ゼロックス株式会社 端数倶楽部 様 富士ゼロックス株式会社 様（マッチング制度）
2016	寄付	286,773 円	一般の方からの寄付（お名前はHP掲載）
	支援金（寄付）	200,000 円	azbil みつばち倶楽部 様 アズビル株式会社 様（マッチング制度）
	支援金（寄付）	100,000 円	富士ゼロックス株式会社 端数倶楽部 様 富士ゼロックス株式会社 様（マッチング制度）
	賛助金	30,000 円 (30,000 円)	シティアクセス株式会社 様 (azbil みつばち倶楽部 様)
	寄付（一般）	5,000 円	初参加者向け用 目的別寄付
	寄付（一般）	51,200 円	最少定員未達時用 目的別寄付
2017	寄付	305,538 円	一般の方からの寄付（お名前はHP掲載）
	支援金（寄付）	200,000 円	azbil みつばち倶楽部 様 アズビル株式会社 様（マッチング制度） 11/29 支援金を事業へ充当（事業1：95,000 円、 事業6：50,000 円、事業7：55,000 円） ※事業1：福島80便、福島81便に充当。



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
 ≪2018年度(H30)活動実績・2019年度(R01)活動計画≫

年度	項目	金額	ご寄付・支援元
	支援金（寄付）	200,000円	富士ゼロックス株式会社 端数倶楽部 様 富士ゼロックス株式会社 様（マッチング制度） 寄付（事業1：52,000円、事業6：48,000、維持管理：100,000円充当） ※事業1は福島80便、福島81便に充当。
	賛助金	(30,000円)	( <a href="#">azbil みつばち倶楽部</a> 様)
	寄付（一般）	54,500円	初参加者向け等、バス寄付 4/22 福島72便に2口充当26,000円。12/9 福島80便に初めて2名へ10,000円充当。 2/23 福島81便に3口充当、残額は帰路感謝の集い参加者バス分へ充当3,000円/1口。
	寄付（一般）	138,500円	浪江町社協への寄贈品寄付 2018.3.18 最終寄贈（明細は寄付者へ提示済み）
2018	寄付	408,520円	一般の方からの寄付 ( <a href="#">お名前はHP掲載</a> )
	支援金（寄付）	200,000円	<a href="#">azbil みつばち倶楽部</a> 様 アズビル株式会社 様（マッチング制度） 支援金は事業へ充当（事業1：100,000円、事業3：10,000円、事業4：30,000円、維持管理60,000円） させていただきました。
	支援金（寄付）	200,000円	富士ゼロックス株式会社 端数倶楽部 様 富士ゼロックス株式会社 様（マッチング制度） 支援金は事業費へ充当（事業1：80,000円、事業3：20,000円、事業4：160,000円、維持管理：40,000円充当） させていただきました。
	寄付（一般）	23,000円	南相馬市小高区に戻られた方へ火事見舞い 19名

多くの皆様からのご寄付・ご支援感謝申し上げます。



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
 ≪2018年度(H30)活動実績・2019年度(R01)活動計画≫

## 1.5 組織概要

	会議体	目的
(1)	総会	総会は年1回開催。活動報告、活動計画などの運営を決議する。
(2)	定例会	定例会は都度開催。開催日は定例会で決め議事録とする。
(3)	臨時会議	臨時総会、臨時定例会は役員が必要と認めたとき、代表が招集する。

## 1.6 会員制度

	会員項目	役割	年会費
(1)	正会員	入会時、および次年度以降は年1回、会費を納入しなければならない。正会員より総会にて役員を選出する。	2,000円/ 1口以上
(2)	一般会員	本会の活動を支援する会員とする。	なし
(3)	賛助会員	財政支援の個人・団体の会員とする。入会時、および次年度以降は年1回、会費を納入しなければならない。	1,000円/ 1口以上
(4)	情報発信	【非会員】講演会等に参加され、情報発信に許諾いただいた方。(当団体のMLに登録し情報発信)	なし
(5)	参加登録	【非会員】過去、活動または参加応募参加された方。(当団体のMLに登録し情報発信)	なし

会員、情報発信・参加登録メンバーは当団体MLに登録する。情報発信する。

正会員会費は2016年度に2,000円/1口以上とした。

会員番号 kfx9999

K	kanagawa	
F	Fukushima	
X	会員	0：正会員（A：内ふくしま応援隊）、1：一般会員、2：賛助会員
	非会員	8：情報発信のメンバー、9：参加登録のメンバー
999	一連番号（001～999）	

## 1.7 団体登録先・情報登録先

登録先	登録内容・登録日等
かながわ県民活動サポートセンター	利用団体（2012.01.27登録）
特定非営利法人 かながわ避難者と共にあゆむ会	正会員（2019.04.01更新）
NPO法人 ボランティアインフォ	ボランティア情報登録（都度）
東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）	会員団体（2016.02.19申請）
ふくしま連携復興センター	準会員（2016.02.29承認）
CANPAN FIELDS（団体ID：1032639997） 5つ★	団体登録（2016.06.01登録）



## 1.8 当団体運営

### 1.8.1 定例会・管理事項等

定期開催	かながわ県民センター	11F 会議室など
議事録	議事録作成・管理	電子ファイルで保管
会計監査	年度末に内部会計監査実施	
寄付・寄贈	HP ですべて掲載	ご寄付のページ
会計	HP ですべて掲載	会計報告のページ

### 1.8.2 安全対策など

ボランティア活動保険	活動参加者の加入を確認	参加申込時
行事保険	行事实施時に加入	必要都度加入
活動マニュアル	活動場所ごとに作成	電子ファイルで保管
行程表	活動・行程表を都度作成	電子ファイルで保管
仮眠所	運転手仮眠所確保	各、現地で確保

### 1.8.3 教育関係（自主受講済み事項、ボランティアの一部スキル）（役員）

環境省 水・大気環境局除染等業務に係る特別教育	渡辺孝彦、村上幸
除染等業務作業指揮者教育	村上幸
労働安全衛生法による安全衛生教育（刈払機）	渡辺孝彦、東尚子、村上幸、私市慎治
労働安全衛生法による特別教育（チェーンソー）	渡辺孝彦、東尚子、村上幸
赤十字救急法 救急員	東尚子、村上幸
労働安全衛生法による特別教育修了 （小型車両系建設機械）	村上 幸(2014. 05. 25 追加) 私市慎治(2015. 08. 23 取得)
防災士（NPO 日本防災士機構）	東 尚子(2015. 03. 19 追加) 村上 幸(2015. 12. 25 追加)

（注）掲載は一部（抜粋）

### 1.8.4 保有備品（個人保有を除く）

TERRA-P	4 台（購入）（活動時の計測管理）	参加者用
TERRA-N	6 台（購入）（活動時の計測管理）	参加者用
メディキタス CK-6	9 台（寄贈）（活動時の積算管理）	参加者用

（注）活動参加時の計測、積算を記録します。



## 2 2018年度活動実績（平成30年度）

### 2.1 福島の問題

東日本大震災から丸7年目が経過した。

現地の避難指示解除が進み、避難元自治体、避難先自治体、そして当事者の方々の環境も大きく変化してく。避難指示が解除されても、必要とされることはまだある。

現地で必要とされることがある限り、活動を継続する必要がある。東日本大震災を伝え続けることは大事である。

当団体は福島に長く関わり続ける。

### 2.2 活動方針

私たちはボランティアである。

- ・ 活動できる場所であることの判断（安全判断）
- ・ 活動するうえで必要とする知識（安全知識）
- ・ 活動するうえでの現地受入団体の長との情報交換（安全の担保）

を行い、活動を進める。現地との情報交換も行い、現地のニーズにて活動を進める。

また、現地との関わりは長く続ける。

### 2.3 活動目的

#### 2.3.1 現地活動

現地が必要とする復旧復興のニーズに応え、一緒に汗をかく、つながる。

- (1) 浪江町内のボランティア活動等に参加し復旧復興へ一緒に汗をかく。
- (2) 現地開催の交流事業に参加して一緒に楽しみ、心のつながりを育む。

#### 2.3.2 連携活動

関東圏および現地の団体と連携し、被災・避難当事者のためのつなぎ手となる。

- (1) 神奈川県と現地団体、行政とのつなぎ手として連携する。
- (2) 関東圏や現地と連携して被災・避難当事者を支援する活動、交流会・支援会議等に参加する。

#### 2.3.3 視察研修

福島県内の地域を訪問し視察研修を行い、福島の当時・今・これからの伝えていく。

- (1) 現地との信頼関係を醸成したうえで計画、遂行する。
- (2) 視察研修の参加者報告をまとめて報告書とし、情報発信に活用する（伝える）。

#### 2.3.4 情報発信

講演会や勉強会、イベントへの出展等を通じて福島の実況・生の声を神奈川に伝える。

- (1) 福島から講師を招いて講演会や勉強会を企画し、直接お話を聞く機会を設ける。
- (2) 勉強会は総会や懇親会と同日開催することで会員の参加を促し理解を深める。
- (3) 広く現地の観光情報や物産情報を発信し、さまざまな形での福島応援を促す。
- (4) イベント等も活用し広く活動発信を行う。

#### 2.3.5 災害復旧支援

国内で大規模な自然災害等が発生した場合に災害復旧支援に緊急対応する。  
実際の活動については状況に応じて決定する。

#### 2.3.6 維持管理

現地の民間団体・個人、行政とのつながりの維持を目的として現地訪問を行う。

#### 2.3.7 その他

有志活動の“美味しいふくしま”を通して福島の美味しいを伝える。

美味しいふくしまは、福島のもの食べて・飲んで、と押し付けるのではなくて、有志メンバーが本当に美味しいと思った福島の食べ物、飲み物を用意してみなさん食べて飲んでいただく機会、場を提供するものです。

そして、みなさんが美味しいと感じていただけたら自然と福島の食を味わっていただける。そんな想いの活動です。

## 2.4 全体事業実績（概要）

福島活動の3つの柱である直接活動（福島県内での活動）、県内活動（神奈川県内での活動）、情報発信を中心とし5つの事業とし、以下に活動（事業詳細）を行う。

事業詳細	計画	
《事業1》 現地活動	計画	浪江町社協ボランティアに毎月1回参加する <b>【広域便】</b> 10回、参加枠各8名、延べ80人、福島86便～ <b>【バス便】</b> 2回、参加枠各17名、延べ34人、福島88,90便 <b>【広域便】</b> 現地開催の交流事業・ボランティアに参加。4回まで
	実績	○概ね計画どおり実施した。浪江町社協活動はバス便含めて9回実施した、今後は地元の方々が中心となる。川内村、葛尾村も実施した。
《事業2》 連携活動	計画	関東圏および現地団体と連携し、当事者のつなぎ手となるために、年4回まで、現地開催の支援活動、交流会、支援会議等に参加する。
	実績	○概ね計画どおり実施した。葛尾村「結の米作り」に年間を通して参加。アズビル(株)防災講話へ講師紹介。おだかぷらっとほ一む参加など。
《事業3》 視察研修	計画	福島県内で視察研修を行い、福島の当時・今・これからの伝える。 <b>【視察研修便】</b> 1回、参加者20人、福島93便（視察研修6号）
	実績	◎計画どおり実施した。相馬市、新地町、一社）そうま食べる通信の協力を得て実施した。残念なのは参加者が計画より少なかったこと。
《事業4》 情報発信	計画	講演会や勉強会、イベントを通じて福島の生の声を神奈川に伝える。 <b>【勉強会】</b> 1回、50人、第6回勉強会 <b>【講演会】</b> 1回、50人、第7回講演会
	実績	◎計画どおり実施した。勉強会は浪江町の副町長をお招きし6月に開催した。講演会は相馬市在住の小幡様をお招きし1月に開催した。
《事業5》 災害復旧支援	計画	国内で大規模な自然災害等が発生した場合に災害復旧支援ができる体制を備える。
	実績	○概ね目的を成した。当団体主催はないが、神奈川県主催の西日本豪雨災害会議、神奈川県内の団体主催の西日本豪雨倉敷ボランティアに参加した。また新しい市民活動フェア運営会議に参加など。
《維持管理》 現地訪問等	計画	現地の民間団体、個人、行政などとのつながりの維持を目的とした現地訪問を適宜実施する。年4回（上期2回、下期2回）
	実績	◎計画どおり実施した。年4回の限られた中で、現地とのつながり、かつ同調性、講演会依頼、視察研修調整を含め、訪問実施した。

(補足文)

2018.4.1

## 2018年度事業基本計画

活動の3つの柱である現地活動（福島県内での活動）、県内活動（神奈川県内を含む関東圏での活動）、情報発信（広く一般の方に）を基本として事業を計画する。

### 《事業1》現地活動

現地が必要とする復旧復興のニーズに応え、一緒に汗をかく、つながる。  
浪江町内のボランティア活動等に参加し復旧復興へ一緒に汗をかく。  
現地開催の交流事業に参加して一緒に楽しみ、心のつながりを育む。

### 《事業2》連携活動

関東圏および現地の団体と連携し、被災・避難当事者のためのつなぎ手となる。  
神奈川県と現地団体、行政とのつなぎ手として連携する。  
関東圏や現地と連携して被災・避難当事者を支援する活動、交流会・支援会議等に参加する。

### 《事業3》視察研修

福島県内の地域を訪問し視察研修を行い、福島の当時・今・これからを伝えていく。  
現地との信頼関係を醸成したうえで計画、遂行する。  
視察研修の参加者報告をまとめて報告書とし、情報発信に活用する（伝える）。

### 《事業4》情報発信

講演会や勉強会、イベントへの出展等を通じて福島の実況・生の声を神奈川に伝える。  
福島から講師を招いて講演会や勉強会を企画し、直接お話を聞く機会を設ける。  
勉強会は総会や懇親会と同日開催することで会員の参加を促し理解を深める。  
広く現地の観光情報や物産情報を発信し、さまざまな形での福島応援を促す。  
イベント等も活用し広く活動発信を行う。

### 《事業5》災害復旧支援

国内で大規模な自然災害等が発生した場合に災害復旧支援に緊急対応する。  
実際の活動については状況に応じて決定する。

### 《維持管理》

現地の民間団体、個人、行政とのつながりの維持を目的として現地訪問を行う。

### 《その他》

有志活動である「美味しいふくしま」等で、福島の特産品を実際に味わってもらう活動等  
を続ける。

かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)

## 2.5 事業詳細

### 2.5.1 《事業1》現地活動

#### (1) 現地課題

福島県双葉郡浪江町は2018年3月31日に「帰還困難区域」を除く区域が解除された。そのうえで、地元で必要とされるニーズがあり、浪江町社協が「町中ボランティア」の活動を開始して。過去、引っ越しボランティアの団体登録もさせていただいていたが、新たに「町中ボランティア」にも団体登録をさせていただき、必要とされることのお手伝いをさせていただく。関心が薄れていく中、神奈川にも発信に今を伝えていく。

#### (2) 活動目的

浪江町復旧復興のお手伝いを毎月一回、継続する。  
 また、地域とのつながりも醸成する。

#### (3) 活動実績

(参加者数)

計画	実績
広域便 14 回、バス便 2 回	浪江町社協のボランティア活動 8 回実施(81) 川内村 (ブドウ畑作業) 広域便 4 回実施(27) 葛尾村 (結の米作り) 広域便 2 回実施(18) 相双ボラ (浪江町活動) 広域便 1 回実施(8)

#### (4) 会計実績

(単位：円)

収入	計画予算	実績	支出	計画予算	実績
合計	493,932	493,932	合計	493,932	423,652
			収支(△繰越)	0	△70,280

#### (5) 活動成果

活動を継続して行えた。浪江町は今後、町民主体の活動となる。良いことである。

- ・ 浪江町社協へメンバー寄付を元に資機材の寄贈を行った。活動も参加した。
- ・ 川内村は開墾、石拾い、植栽、霜対策、草取り、防寒と季節を通して参加した。継続する。
- ・ 葛尾村は結の米作りとして、田植え、稲刈り、新米を食べようなど参加した。継続する。
- ・ 相双ボラ活動は関係の方のご相談を受けて現地と調整して家屋片付けのお手伝いを行った。

#### (6) 参加者の声 (一部)

- ・ 浪江町の請戸漁協で漁師さんの奥さんから「小高のほうに船があったけど震災後請戸に移動させられたが、港に何も設備がない(屋根付き市場、氷など冷蔵。トイレなど)」、と言われ復興はまだまだだと実感した。
- ・ 葛尾村の田植えの手伝いで、地域の女性グループ、婦人会による昼食づくりの協力があった。「見学だけしようと見に来たら、やはり懐かしくうれしく、田植えもやってしまった」という笑顔や、「若い人の笑い声が響いているだけで満足」など、喜びの声が多かった。
- ・ 川内村のブドウ畑での農作業の手伝いは結構な作業量だった。ワインづくりが軌道に乗るまではボランティア等がかかわっていきたい。

## 2.5.2 《事業2》連携活動

### (1) 現地課題

避難指示解除により環境は大きく変化していく。

生活に直結する悩みがさらに増してくる。避難されている方々の声に耳を傾け、共に進んでいくこと、また関東の自治体・社協などとの情報交換が必要とされてくる部分もある。福島と神奈川をつなぐ当団体として引き続き協力する。

### (2) 活動目的

当団体は福島の現地と神奈川のつなぎ手となる。

また、神奈川、東京、現地での交流会、会議などに参加し継続して情報を得る。

あゆむ会からの共催・協力要請に応じてできることの事業協力を行う。

そして、福島の現地に赴く団体として、神奈川と福島のつなぎ手となる。

### (3) 活動実績

(参加者数)

計画	実績
会議等参加 (4回)	川内村のブドウ畑作業に季節を通して参加。 葛尾村「結の米作り」に年間を通して参加。 アズビル(株)防災講話へ講師紹介。 おだかぷらっとほ一む参加など

### (4) 会計実績

(単位：円)

収入	計画予算	実績	支出	計画予算	実績
合計	210,108	233,180	合計	210,108	44,695
			収支(△繰越)	0	△188,413

### (5) 活動成果

会議の参加はなかったが、活動を通しての現地との交流を図れた。

- ・ 川内村は現地活動と合わせてセミナー参加、ブドウ畑、宿泊での交流など行えた。
- ・ 葛尾村は結の米作りを通して都内イベント参加、また活動報告の紹介の場なども頂戴した。
- ・ 当団体の講演会を通して支援をいただいている先へ講師紹介など行えた。
- ・ 現地訪問の折に、地元での交流会に参加させていただいた。

### (6)参加者の声 (一部)

- ・ 当会が2019年1月17日に開催した講演会「地域をもっと良くするために！アクションを起こして可能性の種をまく」でのご縁から、アズビル株式会社 伊勢原工場のご担当者様より、防災訓練の一環として、相馬市在住の小幡広宣さんへの講話依頼がございました。当会としても連絡調整にご協力させていただき、当日は団体紹介の機会も頂戴しました。このようなご縁の広がり、あらためて感謝申し上げます。今後とも機会があれば、神奈川と福島とのつなぎ手として、できることを進めてまいります。

### 2.5.3 《事業3》視察研修

#### (1) 課題

現地に行き、自分の目、耳、体で感じ、現地の今を神奈川に伝えていく必要がある。

今までの活動のつながりを活かし継続して進める。

東日本大震災と原発事故を『伝える』

地元の現状、今を『正しく知る・伝える』

自分たちにできることを『考える』

#### (2) 活動目的

現地に行き福島に関わるものとして、避難区域の今を知って活動を行う。

年1回実施する。

#### (3) 活動実績

(参加者数)

計画	実績
福島 93 便 (視察研修 6 号) 11 月計画	相馬市および新地町の視察研修を実施した。

#### (4) 会計実績

(単位：円)

収入	計画予算	実績	支出	計画予算	実績
合計	130,000	230,000	合計	130,000	183,191
			収支(△繰越)	0	△46,809

#### (5) 活動成果

視察研修の実施は調整の結果 2019 年 2 月に実施した。

- ・ 季節の都合もあり参加者は 10 人と計画の参加者数には届かなかった。
- ・ 2019 年度は 11 月に計画。kfop メンバーに引き続き関心を持って参加してほしい。
- ・ 相馬市役所、新地町役場、(一社) そうま食べる通信の協力をいただき実施できた。
- ・ 活動報告冊子も作成中。現地協力の方等にフィードバックさせていただく。

#### (6)参加者の声 (一部)

- ・ これまで知らなかった相馬市、新地町の状況をよく知ることができました。とても良い研修になりました。
- ・ 避難対象外(受け入れ側)の8年目の状況をいろいろな立場の方からお話を伺い有益な時間でした。新しい街づくりのスタートを知ることができ、避難がなかったからこそコミュニティを維持することを大切に実施できたと感じました。
- ・ 福島の沿岸部、被災の地、知らずに訪れもせずの場所が、あまりにも広く(当然ですが)、あらためて復興に向け日々活動している方達を想いました。
- ・ 現地の方々が復興への熱い想いを抱いていることを知ってほしい。
- ・ 2日間とも、現地の状況を知るととても良い機会となった。現地の方々がたくましく前へ進もうとされる姿を見せていただき、少し安心できた。災害を踏まえた暮らし方等は神奈川でも取り入れたい内容がたくさんあった。研修に向けご準備いただき感謝申し上げます。
- ・ 海岸(砂浜)清掃とか、バス便を出せないか(現地のニーズもある)

## 2.5.4 《事業4》情報発信（講演会等）

### (1) 課題

神奈川県内への情報発信は「伝える」ために必要である。

年に2度（上期：勉強会、下期：講演会）を通して、福島の方を招き、神奈川への発信を継続する必要がある。

### (2) 活動目的

現地の方を招き講演会などを継続し、神奈川に福島を伝えていく。

### (3) 活動実績

（参加者数）

計画	実績
第6回勉強会、第7回講演会	6月第7回総会を実施 6月は浪江町の副町長を招いて勉強会を実施 1月は相馬市の小幡氏を招いて講演会を実施 葛尾村「新米を食べる」イベントで活動報告 アズビル(株)防災訓練で活動紹介

### (4) 会計実績（単位：円）

収入	計画予算	実績	支出	計画予算	実績
合計	549,063	433,063	合計	549,063	292,002
			収支(△繰越)	0	△141,061

### (5) 活動成果

総会、勉強会、講演会共に計画どおり実施した。

- ・ 勉強会、講演会共に現地の方をお招きして生の声でお話を伺った。
- ・ 参加は当団体メンバー、避難されている方、一般の方、他団体等多方面から参加。
- ・ 福島の当時、今を知っていただく良い機会であった。
- ・ また、催しの後は懇親会も行いメンバー・参加者間の交流も図った。

### (6) 参加者の声（一部）

- ・ 現地の話が直接聞けて考えさせられることが沢山あった。勉強会に避難者の方の感想、話、意味のある会、会運営だと思いました。
- ・ 今回のお話を聞くことができ本当によかったです。ホームページ等で見ることができませんが、実際に言葉で伺うと内容が入ってきます。ありがとうございました。浪江町の現実を知ることができました。
- ・ 元気に前向きの方がいらっしゃる相馬のファンになりました。相馬に行きたくなりました。以前からボランティアをされていて、フットワークが軽くて素晴らしいです。
- ・ 直接体験した方のお話をお聞きできてよかったです。放射線測定どうしてやるの？あの時県や国が信用できなかったから、が心に響きました。「一步踏み出す勇気」や度胸が大事ですね。「支援」はピンとこない、一緒にやってみましょう、という感覚、と言われたのはとても共感できました。これまで知らなかった相馬市、新地町の状況をよく知ることができました。とても良い研修になりました。



## 2.5.5 《事業5》災害復旧支援

### (1) 課題

災害ボランティア団体として災害に備える  
 運営マニュアルなども整え、誰でも初動ができる運営とする必要がある。

### (2) 活動目的

自然災害等大規模災害の復旧支援を行うことを明確にし、活動を進める。  
 また、運営マニュアルの整備も進める。

### (3) 活動実績

(参加者数)

計画	実績
発災時に対応	西日本豪雨災害会議出席 西日本豪雨倉敷ボランティア参加 新しい市民活動の検討へ参加

### (4) 会計実績 (単位：円)

収入	計画予算	実績	支出	計画予算	実績
合計	0	0	合計	0	0
			収支(△繰越)	0	0

### (5) 活動成果

平成30年7月豪雨：2018年（平成30年）6月28日から7月8日にかけて西日本を中心に北海道や中部地方を含む全国的に広い範囲で記録された台風7号および梅雨前線等の影響による集中豪雨被災あり。団体としての主催はないが神奈川県事業へ参加また他団体ボランティアバスへスタッフ協力し活動に参加した。

また、神奈川県民センターで開催される「市民活動」の今後について、検討に参画した。

### (6) 参加者の声 (一部)

- ・ 大阪、西日本の災害支援に他団体募集ボランティアにスタッフとして協力し参加した。

## 2.5.6 《維持管理》

### (1) 課題

福島の各市町村、社協、民間団体等と連携するうえで、地元とのつながり維持は大切である定期的な訪問を行い、関係の維持に努める。(前年度に同じ)。

前年度は、回数が少なく必要な関係先へ訪問が十分ではなかった、今年度は上期、下期に各2回を計画し、維持管理に努める。

### (2) 活動目的

現地(行政・社協・地元の団体)を訪問し、つながりを維持する。

### (3) 活動実績

(参加者数)

計画	実績
上期2回、下期2回訪問	2018年5月：福島訪問1(7先他訪問) 2018年9月：福島訪問2(4地域訪問) 2018年11月：福島訪問3(2地域訪問) 2019年3月：福島訪問4(23先他訪問)

### (4) 会計実績 (単位：円)

収入	計画予算	実績	支出	計画予算	実績
合計	407,317	415,843	合計	407,317	161,795
			収支(△繰越)	0	△254,048

### (5) 活動成果

活動調整、勉強会、講演会、視察研修の講師依頼、日程調整および維持管理を目的として年4回現地訪問を行えた。現地との関係醸成はまだまだであるが、直接訪問を行うことが当団体のすべきことであり、毎年度継続していく。

また、訪問によりできているつながりを今後とも維持・継続していく。

### (6) 参加者の声(一部)

- ・ 福島訪問1~4と4回実施した。
- ・ 維持管理及び現地の調整等現地の話が直接聞けて考えさせられることが沢山あった。勉強会に避難者の方の感想、話、意味のある会、会運営だと思いました。

## 2.5.7 《その他》

8月20日(月)~31日(金)までの平日開催 美味しいふくしま 2018@復興バー銀座

2018年11月18日(日) 映画『新地町の漁師たち』上映会



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
 ≪2018年度(H30)活動実績・2019年度(R01)活動計画≫

2.5.8 予算実績

(1) 活動計算書

科目	金額					
	計画 金額(小計)	実績 金額(小計)	計画 金額(中計)	実績 金額(中計)	計画 金額(合計)	実績 金額(合計)
活動計算書						
かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop) 2018年4月1日 ~ 2019年3月31日まで (単位:円)						
<b>I 経常収益</b>						
1. 受取会費						
受取会費	120,000	120,000	120,000	120,000		
2. 受取寄付金						
受取寄付金(一般)	400,000	408,520				
受取寄付金(目的)	0	23,000	400,000	431,520		
3. 受取支援金等(寄付)						
受取民間支援金1	200,000	200,000				
受取民間支援金2	100,000	200,000	300,000	400,000		
4. 事業収益						
事業1収益		0				
事業2収益		0				
事業3収益		0				
事業4収益	240,000	124,000				
事業5収益		0				
(未使用)		0				
(未使用)		0				
(未使用)		0				
(未使用)		0				
維持収益		0	240,000	124,000		
5. その他収益						
受取利息		6	0	6		
経常収益計					1,060,000	1,075,526
<b>II 経常費用</b>						
1. 事業費						
(1)人件費	0	0				
人件費計	0	0				
(2)その他経費						
事業支払負担金	0	26,211				
事業謝礼金	90,000	30,000				
事業源泉徴収額	3,063	3,411				
事業印刷製本費	16,000	28,089				
事業会議費	20,000	18,680				
事業旅費交通費	983,500	677,207				
事業通信運搬費	0	9,132				
事業消耗品費	0	0				
事業保険料	0	0				
事業支払手数料	540	810				
事業支払寄付金	0	28,000				
事業諸会費	10,000	10,000				
事業雑費	260,000	123,850				
その他経費計	1,383,103	953,390				
事業費計			1,383,103	953,390		
2. 管理費						
(1)人件費	0	0				
人件費計	0	0				
(2)その他経費						
管理支払負担金	0	0				
管理印刷製本費	10,000	45,532				
管理会議費	0	800				
管理旅費交通費	200,000	76,261				
管理通信運搬費	10,000	10,940				
管理消耗品費	20,000	0				
管理保険料	0	0				
管理支払手数料	0	0				
管理支払寄付金	0	150				
管理諸会費	1,200	1,200				
管理雑費	166,117	17,062				
その他経費計	407,317	151,945				
管理費計			407,317	151,945		
経常費用計					1,790,420	1,105,335
当期正味財産増減額					-730,420	-29,809
前期繰越正味財産額					730,420	730,420
次期繰越正味財産額					0	700,611

( 2019年3月31日 現在)

(2) 貸借対照表

<b>貸借対照表</b>			
		かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop)	
		2018年4月1日 ~ 2019年3月31日まで	
		(単位:円)	
科目	金額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
横浜BK会費口	700,611		
横浜BK寄付口	0		
仮払金	0		
流動資産合計		700,611	
2. 固定資産			
固定資産	0		
固定資産合計		0	
<b>資産合計</b>			<b>700,611</b>
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
仮受金	0		
前受金	0		
未払金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
役員借入金	0		
固定負債合計		0	
<b>負債合計</b>			<b>0</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		730,420	
当期正味財産増減額		-29,809	
<b>正味財産合計</b>			<b>700,611</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>			<b>700,611</b>

( 2019年3月31日 現在)

(3) 財務諸表の注記

財務諸表の注記								
かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)								
( 会計期間 : 2018年4月1日 ~ 2019年3月31日まで )								
1. 重要な会計方針								
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準によっています。								
資産は、口座預金(会費口、寄付口)のみ、固定資産なし。借入等の負債なし(前受、仮受を除く)								
2. 事業別損益の状況								
事業別損益の状況は以下の通りです。								
(単位:円)								
科目	事業1 現地活動	事業2 連携活動	事業3 視察研修	事業4 情報発信	事業5 災害支援	事業 部門計	維持管理	合計
<b>I 経常収益</b>								
1. 受取会費(新規)	0	10,000	0	0	0	10,000	110,000	120,000
【事業計画	0	10,000	0	0	0	10,000	110,000	120,000
※ 2. 受取寄付金(新規)	30,000	100,000	30,000	153,000	0	313,000	95,520	408,520
【事業計画	30,000	100,000	30,000	153,000	0	313,000	87,000	400,000
※ 3. 受取支援金等	140,000	0	120,000	60,000	0	320,000	80,000	400,000
【事業計画	140,000	0	20,000	60,000	0	220,000	80,000	300,000
※ 4. 受取目的寄付等	0	23,000	0	0	0	23,000	0	23,000
【事業計画	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 事業収益(参加費)	0	0	0	124,000	0	124,000	0	124,000
【事業計画	0	0	0	240,000	0	240,000	0	240,000
※ 6. 前期繰越金(寄付)	323,932	100,108	80,000	96,063	0	600,103	130,317	730,420
7. 前期繰越金(目的)	0	0	0	0	0	0	0	0
8. 前期繰越金(会費)	0	0	0	0	0	0	0	0
9. その他収益	0	0	0	0	0	0	6	6
経常収益計	493,932	233,108	230,000	433,063	0	1,390,103	415,843	1,805,946
【事業計画計	493,932	210,108	130,000	549,063	0	1,383,103	407,317	1,790,420
<b>II 経常費用</b>								
(1) 人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費								
諸謝金	0	0	0	30,000	0	30,000	0	30,000
源泉徴収額	0	0	0	3,411	0	3,411	0	3,411
印刷製本費	2,789	0	18,720	4,580	0	26,089	45,532	71,621
会議費	0	0	0	18,680	0	18,680	800	19,480
旅費交通費	411,763	11,587	159,017	82,680	0	665,047	85,761	750,808
車両費	0	0	0	0	0	0	500	500
通信運搬費	3,722	0	5,238	280	0	9,240	10,940	20,180
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	378	108	216	0	0	702	0	702
支払寄付金	5,000	23,000	0	150	0	28,150	0	28,150
諸会費	0	10,000	0	0	0	10,000	1,200	11,200
支払負担金	0	0	0	26,211	0	26,211	0	26,211
雑費	0	0	0	126,010	0	126,010	17,062	143,072
その他経費計	423,652	44,695	183,191	292,002	0	943,540	161,795	1,105,335
経常費用計	423,652	44,695	183,191	292,002	0	943,540	161,795	1,105,335
当期経常増減額	70,280	188,413	46,809	141,061	0	446,563	254,048	700,611
(※表示項目の金額は寄付口から会費口(事業用口座)へ振替額または予定額を示す。)								
3. 「使途制限なし」寄付・支援金の内訳								
内容	期首残高	当期 増加額	当期 減少額	期末残高	備考			
江井さん火事見舞金 (事業2目的別寄付扱い)	0	23,000	23,000	0	江井さん火事見舞金(参加者19名)			
一社)東北支援会+プラス	0	50,000	50,000	0	事業へ振替 (維持管理)			
azbil みつばち倶楽部 (azbil株式会社)	0	200,000	200,000	0	事業へ振替 (事業1:10万円、事業3:1万円、事業4:3万円、維持:6万円)			
靖歌倶楽部 (富士ゼロックス)	0	200,000	200,000	0	事業へ振替 (事業1:8万円、事業3:2万円、事業4:16万円、維持:4万円)			
	0	0	0	0				
	0	0	0	0				
合計	0	473,000	473,000	0				
( 2019年3月31日 現在 )								

(4) 監査報告書 (会計、事業)

## 監 査 報 告 書

かながわ福島応援プロジェクト(以下、「kfop」という。)の 2018 年度(平成 30 年4月 1 日～平成 31 年3月 31 日)の収支会計及び事業について監査したので報告する。

### 1. 監査方法の概要

2018 年度(平成 30 年度)の活動実績報告資料、およびその実施内容と、会計収支元帳、財務諸表、預金通帳、領収書等証拠書類を閲覧して監査した。

### 2. 監査結果

#### 1) 監事会計監査

会計収支元帳、預金通帳、領収書等証拠書類、財務諸表、損益計算書は、すべて相違なく、適正に表示されている。

#### 2) 監事事業監査

事業 1 から事業 5 までの事業活動および維持管理は、設立趣意書および活動基本に従い、平成 30 年度活動計画のとおり適正に実施している。


現地活動にあたっては、福島県内関係市町村と各地社会福祉協議会などを定期的に訪問して意思疎通を密にし、現地の実情に即して日程変更などを含め活動計画を策定し、適切に実施している。また、現地活動の実施結果はホームページその他で報告して、会員・賛同者・寄付支援者・第三者などの理解と支持を得るべく努めている。

#### 3) 追記事項、改善点の提言

特になし。

以上

平成 31 年4月 12日

監事 矢島 國紀 



## 2.6 2018年度の役員・スタッフ

### 2.6.1 役員・スタッフ

区分	役割	氏名	兼務等	
役員	代表	渡辺 孝彦	重任	兼 会計、渉外、あゆむ会副理事長
	広報	東 尚子	重任	
		村上 幸	重任	
		私市 慎治	重任	
		長崎 羊子	重任	
監事		矢島 國紀	重任	監事（業務監査、会計監査）、記録

### 2.6.2 事業担当

事業	事業名	担当
事業1	現地活動	私市慎治、長崎羊子 / (全体運営：渡辺)
事業2	連携活動	東 尚子、渡辺孝彦
事業3	視察研修	渡辺孝彦、東 尚子
事業4	情報発信	村上 幸、東 尚子
事業5	災害復旧支援	渡辺孝彦
維持管理	維持管理	渡辺孝彦、東 尚子
※事業外	美味しいふくしま	村上 幸、東 尚子

### 2.6.3 2018年度会員推移（2019年3月31日）状況

(単位：人)

区分		総人数	女性	男性
正会員	0/A	50名(+8)	18名(▲4)	32名(▲4)
一般会員	1	135名(+6)	52名(+3)	83名(+3)
賛助会員	2	8名(+1)	5名(+1)	3名(±0)
情報発信	8	16名(+7)	8名(+3)	8名(+4)
参加登録	9	116名(+2)	49名(+1)	67名(+1)
合計		<b>325名(+8)</b>	<b>132名(+4)</b>	<b>193名(+4)</b>

(補足) ( ) 内は前年2018年3月31日対比



## 2.7 2018年度総括（平成30年度）

### 2.7.1 現地活動

当団体は「福島応援」の団体である。

今必要なことは、復旧・復興へ一緒に汗をかき、また一緒に楽しむこと。

今まで、現地で屋外の片付けのお手伝いを行うことが多かったが、これからは地元の方々と一緒にあって、福島復興へ一緒に汗をかく、また楽しく、の時でもある。

復興へと地元の方々が工夫され、色々な道を模索されている。

地元の方々と一緒にあって、福島に寄り添っていく（楽しく）。今必要なことです。

- ・ 浪江町社協の活動はこれから町民主体の活動になります。良いことです。
- ・ 川内村、葛尾村では地域の復興へ色々な活動が展開されている。一つの応援です。

今後も長く福島に関わっていく。

### 2.7.2 連携活動

直接の被災・避難当事者を支援する活動、交流会・支援会議への参加は当年度なかった。

しかし、事業1の現地活動を通して、現地セミナーへの参加、関東での企画されたイベントへ参加など、神奈川の方々（メンバーを含めて）へ情報の発信を行い、少しではあるが現地と神奈川の連携を図れた。

### 2.7.3 視察研修

相馬市役所、新地町役場、一社）そうま食べる通信の協力を受け、視察研修が実施できた。

参加者は10人、本来であれば18人以上に参加していただきたいかった。

現地での体を動かす活動も一つであるが、現地へ赴き、地元の方と接して、聞いて・見て・感じて・知ること、大事なことである。

もっともっとそのことを、当団体メンバーを含めて伝えていきたい。

### 2.7.4 情報発信

総会、勉強会、講演会、また機会をいただいた活動報告、活動紹介の場で、福島現地、当団体の活動を含めて紹介することができた。

現地活動、連携活動、視察研修をとおしても同じことが言えるが、活動ありきではなく、地元の方々と一緒に、をもっともっと伝えていきたい。

### 2.7.5 災害支援

2018年度は平成30年7月豪雨があった。

当団体が主催する活動はなかったが、神奈川県西日本豪雨災害会議へ参画、神奈川県内のボランティア団体主催へ共催および協力を行い、現地活動への参加などを行った。

2019年3月31日

かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)

代表 渡辺孝彦／スタッフ一同



### 3 2019年度活動計画（令和元年）

#### 3.1 はじめに

現地の状況を確認しながら「福島応援」も少しずつ変化して行きます。

- ・復旧から復興・復興・一緒にと…。
- ・お互い対等な立場で、そして楽しく。

まだまだ笑えないことは多くあります。

- ・避難を余儀なくされていまみなさんはまだまだ先が見通せない。その中前に進んでいる。
- ・福島の実地に戻られた方々も”もどったんだ”と日々前へ進んでいる。
- ・地元の方は、遊びに来て、一緒に楽しもうと元気に。

私達にできること

- ・それぞれの立場を尊重し、一緒に寄り添っていく。
- ・寄り添いは、上から目線ではなくて、対等で一緒に。です。

私達は「福島応援」の活動団体です。

- ・”福島応援”の名も上から目線に感じ取られてしまうことがあります。
- ・ただ、活動を始めた時の思い”福島応援”の名前です。
- ・”福島応援”として対等で一緒に、を活動の方針としてこれからも進みます。
- ・楽しい企画も考えて行きます。
- ・みなさんもそんな方針を理解していただいて”一緒に”に進んでいただけることを願います。

#### 3.2 福島の課題

福島の課題

東日本大震災から丸8年目が経過した。現地の避難指示解除の経過は以下である。

南相馬市小高区	2016年7月12日（平成28年）解除
双葉郡浪江町	2017年3月31日（平成29年）帰還困難区域を除き解除
双葉郡富岡町	2017年4月01日（平成29年）帰還困難区域を除き解除
双葉郡大熊町	2019年4月10日（平成31年）帰還困難区域を除き解除
双葉郡双葉町	2020年春（令和02年）避難指示解除準備区域と駅周辺の一部

現地で必要とされることは「一緒に、楽しく」である。

- ・福島に寄り添う
- ・現地での活動にとらわれず
- ・自分たちが中心とならず

そして、東日本大震災を伝え続ける。

当団体は福島に長く関わり続ける。

### 3.3 活動方針

私たちはボランティアである。

- ・ 活動できる場所であることの判断（安全判断）
- ・ 活動するうえで必要とする知識（安全知識）
- ・ 活動するうえでの現地受入団体の長との情報交換（安全の担保）

を行い、活動を進める。現地との情報交換も行い、現地のニーズにて活動を進める。  
また、現地との関わりは長く続ける。

### 3.4 活動目的

#### 3.4.1 現地活動

福島の復旧復興の取り組みに参加して、一緒に汗をかく、つながる。

- (1) 福島のボランティアに参加し、復旧復興に向けて一緒に汗をかく、つながる。
- (2) 福島で開催される交流事業に参加し、一緒に楽しみ、心のつながりを育む。

#### 3.4.2 連携活動

関東圏や福島の団体と連携し、被災・避難当事者のためのつなぎ手となる。

- (1) 神奈川と福島の団体、行政とのつなぎ手として連携する。
- (2) 関東圏や福島の団体と連携し、被災・避難当事者を支援する活動、交流会・支援会議等に参加する。

#### 3.4.3 視察研修

福島県内の地域を訪問し視察研修を行い、福島の当時・今・これからを伝えていく。

- (1) 福島の方々との信頼関係を醸成したうえで計画、遂行する。
- (2) 視察研修の参加者報告をまとめて報告書とし、情報発信に活用する（伝える）。

#### 3.4.4 情報発信

講演会や勉強会、イベントへの出展等を通じて福島の現状・生の声を神奈川に伝える。

- (1) 福島から講師を招いて講演会や勉強会を企画し、直接お話を聴く機会を設ける。
- (2) 勉強会を総会や懇親会と同日開催することで会員の参加を促し理解を深める。
- (3) 広く現地の観光情報や物産情報を発信し、さまざまな形での福島応援を促す。
- (4) イベント等も活用し広く活動発信を行う。

#### 3.4.5 災害復旧支援

国内で大規模な自然災害等が発生した場合に災害復旧支援に緊急対応する。

- (1) 実際の活動については状況に応じて決定する。



- (2) かながわ災害ボランティア活動支援室登録団体としての活動を行う。  
(かながわ県民活動サポートセンター事業への参加活動を含む)

#### 3.4.6 維持管理

福島の民間団体や個人、行政とのつながりの維持を目的として福島訪問を行う。

#### 3.4.7 その他

有志活動の“美味しいふくしま”を通して福島の美味しいを伝える。

美味しいふくしまは、福島のもの食べて・飲んで、と押し付けるのではなくて、メンバーが本当に美味しいと思った福島の食べ物、飲み物を用意してみなさん食べて飲んでいただく機会、場を提供するものです。

そして、みなさんが美味しいと感じていただけたら自然と福島の食を味わっていただける。

そんな想いの活動です。

### 3.5 全体事業計画（概要）

福島活動の3つの柱である直接活動（福島県内での活動）、県内活動（神奈川県内での活動）、情報発信を中心とし5つの事業とし、以下に活動（事業詳細）を行う。

事業詳細		計画
《事業1》 現地活動	計画	毎月1便（除く11月：視察研修便月）を計画する。 実施形態はバス便、広域便にこだわらない。 バス便：18名以上、広域便：5人から8人程。
《事業2》 連携活動	計画	関東圏および現地団体と連携し、当事者のつなぎ手となるために、 年4回まで、現地開催の支援活動、交流会、支援会議等に参加する。
《事業3》 視察研修	計画	福島県内で視察研修を行い、福島の当時・今・これからを伝える。 【視察研修便】1回、参加者20人、視察研修7号
《事業4》 情報発信	計画	講演会や勉強会、イベントへの出展等を通じて福島の生の声を神奈川に伝える。 【勉強会】6月、1回、50人、第8回勉強会 【講演会】1月、1回、50人、第9回講演会
《事業5》 災害復旧支援	計画	国内で大規模な自然災害等が発生した場合に災害復旧支援に緊急対応する。実際の活動については状況に応じて決定する。 また、かながわ災害ボランティア活動支援室登録団体の活動を行う。
《維持管理》 現地訪問等	計画	現地の民間団体、個人、行政などとのつながりの維持を目的とした 現地訪問を適宜実施する。年4回（上期2回、下期2回）

(公開・掲示用)

2019.4.1

## 2019年度事業基本計画

活動の3つの柱である現地活動（福島県内での活動）、連携活動（神奈川県内を含む関東圏での活動）、情報発信（広く一般の方に）を基本として事業を計画する。

### 《事業1》現地活動

福島の復旧復興の取り組みに参加して、一緒に汗をかく、つながる。  
福島のボランティアに参加し、復旧復興に向けて一緒に汗をかく、つながる。  
福島で開催される交流事業に参加し、一緒に楽しみ、心のつながりを育む。

### 《事業2》連携活動

関東圏や福島の団体と連携し、被災・避難当事者のためのつなぎ手となる。  
神奈川と福島の団体、行政とのつなぎ手として連携する。  
関東圏や福島の団体と連携し、被災・避難当事者を支援する活動、交流会・支援会議等に参加する。

### 《事業3》視察研修

福島県内の地域を訪問し視察研修を行い、福島の当時・今・これからを伝えていく。  
福島の方々との信頼関係を醸成したうえで計画、遂行する。  
視察研修の参加者報告をまとめて報告書とし、情報発信に活用する（伝える）。

### 《事業4》情報発信

講演会や勉強会、イベントへの出展等を通じて福島の現状・生の声を神奈川に伝える。  
福島から講師を招いて講演会や勉強会を企画し、直接お話を聴く機会を設ける。  
勉強会を総会や懇親会と同日開催することで会員の参加を促し理解を深める。  
広く現地の観光情報や物産情報を発信し、さまざまな形での福島応援を促す。  
イベント等も活用し広く活動発信を行う。

### 《事業5》災害復旧支援

国内で大規模な自然災害等が発生した場合に災害復旧支援に緊急対応する。  
実際の活動については状況に応じて決定する。  
かながわ災害ボランティア活動支援室登録団体としての活動を行う。

### 《維持管理》

福島の民間団体や個人、行政とのつながりの維持を目的として福島訪問を行う。

### 《その他》

有志活動である「美味しいふくしま」等で、福島の特産品を紹介する活動等を続ける。

かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)

### 3.6 事業詳細

#### 3.6.1 《事業1》現地活動

##### (1) 現地課題

福島県双葉郡大熊町が2019年3月10日「帰還困難区域」を除き解除された。解除地区は町西側の大川原地区（居住制限区域）と中屋敷地区（避難指示解除準備区域）。町面積の約4割、町民の約4%、138世帯367人が3月末現在で住民登録されている。川原地区には新しい町役場が建設されて14日に開庁式があり、その後移転作業が進められている。役場近くに店舗や宿泊施設、災害公営住宅50戸の建設も進められている。

現地活動は、双葉郡、相馬郡など「福島応援」（現地の屋外片付け作業に関わらず）として必要とされることをお手伝いする。関心を薄れさせないよう神奈川県民にも伝えていく

##### (2) 活動目的

毎月一回、現地へ足を運ぶことを継続する。地域とのつながりも醸成する。

##### (3) 活動計画

(参加者数)

計画	実績

##### (4) 計画予算 (単位：円)

収入	計画予算	実績	支出	計画予算	実績
合計	542,864		合計	542,864	
			収支(△繰越)	0	

(補足1) 広域便のレンタカー代はkfop支払い、他確定額の実費全額は参加者で按分。

(補足2) バス代金は参加者がバス会社へ直接支払う。

#### 3.6.2 《事業2》連携活動

##### (1) 課題

避難されている方々の声に耳を傾け、共に進んでいく。また関東の自治体・社協などとの情報交換が必要とされてくる部分もある。福島と神奈川をつなぐ当団体として引き続き協力する。

##### (2) 活動目的

当団体は福島の実地に赴く団体として、現地と神奈川をつなぎ手となる。

また、神奈川、東京、現地での交流会、会議などに参加し継続して情報を得る。

あゆむ会からの共催・協力要請に応じてできることの事業協力を行う。

##### (3) 活動計画

(参加者数)

計画	実績

##### (4) 計画予算

(単位：円)

収入	計画予算	実績	支出	計画予算	実績
合計	90,000		合計	90,000	
			収支(△繰越)	0	

### 3.6.3 《事業3》視察研修

#### (1) 課題

現地に行き、自分の目、耳、体で感じ、現地の今を神奈川に伝えていく必要がある。  
 今までの活動のつながりを活かし、変わらずに継続して進める。

- ・ 東日本大震災と原発事故を『伝える』
- ・ 地元の現状、今を『正しく知る・伝える』
- ・ 自分たちにできることを『考える』

#### (2) 活動目的

現地に行き福島に関わるものとして、避難区域の今を知って活動を行う。  
 年1回実施する。

#### (3) 活動計画

(参加者数)

計画	実績

#### (4) 計画予算

(単位：円)

収入	計画予算	実績	支出	計画予算	実績
合計	171,440		合計	171,440	
			収支(△繰越)	0	

(補足1) 視察研修便は全額参加者負担。バス代、宿泊代等は参加者が直接支払う。

### 3.6.4 《事業4》情報発信（講演会等）

#### (1) 課題

神奈川県内への情報発信は「伝える」ために必要である。

年に2度（上期：勉強会、下期：講演会）を通して、福島の方を招き、神奈川への発信を継続する必要がある。

#### (2) 活動目的

現地の方を招き講演会などを継続し、神奈川に福島を伝えていく。

#### (3) 活動計画

(参加者数)

計画	実績

#### (4) 計画予算

(単位：円)

収入	計画予算	実績	支出	計画予算	実績
合計	540,000		合計	540,000	
			収支(△繰越)	0	

(補足1) 旅費交通費は講師招致費。また調整打ち合わせ等費用は維持管理費で行う。

### 3.6.5 《事業5》災害復旧支援

#### (1) 課題

災害ボランティア団体として災害に備える  
 神奈川県民センターで行われる「市民活動フェア」で団体紹介なども行う。

#### (2) 活動目的

自然災害等大規模災害の復旧支援を行うことを明確にし、活動を進める。  
 団体紹介なども行う。

#### (3) 活動計画

(参加者数)

計画	実績

#### (4) 計画予算

(単位：円)

収入	計画予算	実績	支出	計画予算	実績
合計	50,000	/	合計	50,000	/
			収支(△繰越)	0	/

### 3.6.6 《維持管理》

#### (1) 課題

福島の各市町村、社協、民間団体等と連携するうえで、地元とのつながり維持は大切である定期的な訪問を行い、関係の維持に努める。(過年度に同じ)。  
 上期、下期に各2回を計画し、維持管理に努める。

#### (2) 活動目的

現地(行政・社協・地元の団体)を訪問し、つながりを維持する。

#### (3) 活動計画

(参加者数)

計画	実績

#### (4) 計画予算

(単位：円)

収入	計画予算	実績	支出	計画予算	実績
合計	366,307	/	合計	366,307	/
			収支(△繰越)	0	/





かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
 ≪2018年度(H30)活動実績・2019年度(R01)活動計画≫

3.6.7 事業予算

(1) 活動計算書

科目	金額					
	計画 金額(小計)	実績 金額(小計)	計画 金額(中計)	実績 金額(中計)	計画 金額(合計)	実績 金額(合計)
活動計算書						
かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop)						
2019年4月1日 ~ 2020年3月31日まで (単位:円)						
I 経常収益						
1. 受取会費						
受取会費	120,000	0	120,000	0		
2. 受取寄付金						
受取寄付金(一般)	500,000	0				
受取寄付金(目的)	0	0	500,000	0		
3. 受取支援金等(寄付)						
受取民間支援金1	100,000	0				
受取民間支援金2	100,000	0	200,000	0		
4. 事業収益						
事業1収益		0				
事業2収益		0				
事業3収益		0				
事業4収益	240,000	0				
事業5収益		0				
(未使用)		0				
(未使用)		0				
(未使用)		0				
(未使用)		0				
維持収益		0	240,000	0		
5. その他収益						
受取利息		0	0	0		
経常収益計					1,060,000	0
II 経常費用						
1. 事業費						
(1)人件費	0	0				
人件費計	0	0				
(2)その他経費						
事業支払負担金	0	0				
事業諸謝金	90,000	0				
事業源泉徴収額	9,000	0				
事業印刷製本費	17,000	0				
事業会議費	15,000	0				
事業旅費交通費	818,304	0				
事業通信運搬費	3,000	0				
事業消耗品費	0	0				
事業保険料	0	0				
事業支払手数料	0	0				
事業支払寄付金	0	0				
事業諸会費	0	0				
事業雑費	432,000	0				
その他経費計	1,384,304	0				
事業費計			1,384,304	0		
2. 管理費						
(1)人件費	0	0				
人件費計	0	0				
(2)その他経費						
管理支払負担金	0	0				
管理印刷製本費	63,000	0				
管理会議費	5,000	0				
管理旅費交通費	148,000	0				
管理通信運搬費	12,000	0				
管理消耗品費	0	0				
管理保険料	0	0				
管理支払手数料	0	0				
管理支払寄付金	0	0				
管理諸会費	11,200	0				
管理雑費	137,107	0				
その他経費計	376,307	0				
管理費計			376,307	0		
経常費用計					1,760,611	0
当期正味財産増減額					-700,611	0
前期繰越正味財産額					700,611	700,611
次期繰越正味財産額					0	700,611
					( 2019年4月1日 現在)	



(2) 貸借対照表

**貸借対照表**



かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop)

2019年4月1日 ~ 2020年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額	
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
横浜BK会費口	700,611	
横浜BK寄付口	0	
仮払金	0	
流動資産合計		700,611
2. 固定資産		
固定資産	0	
固定資産合計		0
<b>資産合計</b>		<b>700,611</b>
<b>II 負債の部</b>		
1. 流動負債		
仮受金	0	
前受金	0	
未払金	0	
流動負債合計		0
2. 固定負債		
役員借入金	0	
固定負債合計		0
<b>負債合計</b>		<b>0</b>
<b>III 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産		700,611
当期正味財産増減額		0
<b>正味財産合計</b>		<b>700,611</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>		<b>700,611</b>

( 2019年4月1日 現在)



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
 ≪2018年度(H30)活動実績・2019年度(R01)活動計画≫

(3) 財務諸表の注記

財務諸表の注記



かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop)

( 会計期間 : 2019年4月1日 ~ 2020年3月31日まで )

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準によっています。  
 資産は、口座預金(会費口、寄付口)のみ、固定資産なし。借入等の負債なし(前受、仮受を除く)

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科目	事業1 現地活動	事業2 連携活動	事業3 視察研修	事業4 情報発信	事業5 災害支援	事業 部門計	維持管理	合計
<b>I 経常収益</b>								
1. 受取会費(新規)	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画	0	0	0	0	0	0	120,000	120,000
※2. 受取寄付金(新規)	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画	104,304	40,000	50,000	160,000	50,000	404,304	95,696	500,000
※3. 受取支援金等	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画	60,000	0	60,000	40,000	0	160,000	40,000	200,000
※4. 受取目的寄付等	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 事業収益(参加費)	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画	0	0	0	240,000	0	240,000	0	240,000
※6. 前期繰越金(寄付)	378,560	50,000	61,440	100,000	0	590,000	110,611	700,611
7. 前期繰越金(目的)	0	0	0	0	0	0	0	0
8. 前期繰越金(会費)	0	0	0	0	0	0	0	0
9. その他収益	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	378,560	50,000	61,440	100,000	0	590,000	110,611	700,611
【事業計画計	542,864	90,000	171,440	540,000	50,000	1,394,304	366,307	1,760,611
<b>II 経常費用</b>								
(1) 人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費								
謝礼金	0	0	0	0	0	0	0	0
源泉徴収額	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0
車両費	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	0
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0
雑会費	0	0	0	0	0	0	0	0
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0
その他経費計	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	378,560	50,000	61,440	100,000	0	590,000	110,611	700,611

(※表示項目の金額は寄付口から会費口(事業用口座)へ振替額または予定額を示す。)

3. 「使途制限なし」寄付・支援金の内訳

内容	期首残高	当期 増加額	当期 減少額	期末残高	備考
	0	0	0	0	
	0	0	0	0	
	0	0	0	0	
	0	0	0	0	
	0	0	0	0	
	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	

2019年4月1日 現在)



### 3.7 2019年度の役員・スタッフ

#### 3.7.1 役員・スタッフ

区分	役割	氏名	兼務等	
役員	代表	渡辺 孝彦	重任	兼 会計、渉外、あゆむ会副理事長
	広報	東 尚子	重任	
		村上 幸	重任	
		私市 慎治	重任	
		長崎 羊子	重任	
監事		矢島 國紀	重任	監事（業務監査、会計監査）、記録
		平野香誉子	新任	監事（業務監査、会計監査）

#### 3.7.2 事業担当

事業	事業名	担当
事業 1	現地活動	渡辺孝彦、東 尚子
事業 2	連携活動	東 尚子、渡辺孝彦、長崎羊子
事業 3	視察研修	渡辺孝彦、東 尚子
事業 4	情報発信	東 尚子、渡辺孝彦、村上 幸
事業 5	災害復旧支援	私市慎治、矢島國紀
維持管理	維持管理	渡辺孝彦、東 尚子
(関連事業)	美味しいふくしま	村上 幸、東 尚子

#### 3.7.3 2019年度の会員状況（2019.6.1.時点）

(単位：人)

区分		総人数	女性数	男性数
正会員	0/A	47名(-1)	19名(+2)	28名(-3)
一般会員	1	118名(-18)	41名(-12)	77名(-6)
賛助会員	2	7名(-1)	3名(-2)	4名(+1)
情報発信	8	16名(+7)	8名(+2)	8名(+5)
参加登録	9	91名(-24)	35名(-14)	56名(-10)
合計		<b>279名 (-37)</b>	<b>106名(-24)</b>	<b>173名 (-13)</b>

(補足) ( ) 内は前年 2018年5月1日対比

### 3.8 最後に

当団体は、2019年度も黙々と活動を進める。

信頼関係を持ち長期的に関わることを前提とし、福島の方々とのつながりを広げ、維持する。

福島環境は常に変わっていく、支援、応援から一緒にいる現在である。

当団体の名称は「福島応援」としている。変化は私たちも体感しています。

応援は“一緒に”です。

受け入れていただくことは簡単ではありませんが、福島へ足を運び続けたい。

福島には元気、笑顔がすでに私たち以上にあります。

私たちはその元気、笑顔をいただいて、神奈川から福島に足を運び続けたいと思います。

福島の現地に

そして、神奈川県内に避難を余儀なくされている皆様の必要とされることへ、少しでもお手伝いさせていただければと思います。

福島の元気に！

福島の笑顔に！

福島へ長く関わる！

私たちは、無理をしているものでもなく。

福島に行きたいから行く。

元気に、明るく、楽しく参加者と活動を続けていきます。

福島の応援（一緒に）を続けます。

2019年度もよろしくお祈りします。

2019年4月1日

かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)

代表 渡辺孝彦／スタッフ一同

## 4 補足資料

### 4.1 活動様子 (事業毎の記録写真)

#### 4.1.1 事業1：現地活動 (浪江町)



20180421 福島 86 便(浪江町 03 号)



20180421 福島 86 便(浪江町 03 号)



20180519 福島 87 便(浪江町 04 号)



20180609 福島 88 便(浪江町 05 号)



20180609 福島 88 便(浪江町 05 号)



20180721 福島 89 便(浪江町 06 号)



20180825 福島 90 便(浪江町 07 号)



20180922 福島 91 便(浪江町 08 号)



20181020 福島 92 便(相双ボラ 01)



20181020 福島 92 便(相双ボラ 01)



20181124 福島 95 便(浪江町 10 号)



20181208-2 福島 95 便(浪江町 11 号)

#### 4.1.2 事業1：現地活動（川内村）



20180411 福島 99 便（川内村 02 号）



20180414 福島 99 便（川内村 02 号）



20181215 福島 102 便（川内村 04 号）



20181216 福島 102 便（川内村 04 号）



20190330 福島 98 便（川内村 05 号）



20190331 福島 98 便（川内村 05 号）

4.1.3 事業1：現地活動（葛尾村）



20180626 福島 100 便  
 (葛尾村 02 号・川内村 03 号)



20180626 福島 100 便  
 (葛尾村 02 号・川内村 03 号)



20181008 福島 101 便 (葛尾村 03 号)



20190525 福島 104 便  
 (葛尾村 04 号/川内村 07 号)

4.1.4 事業2：連携活動



20181102 葛尾の新米

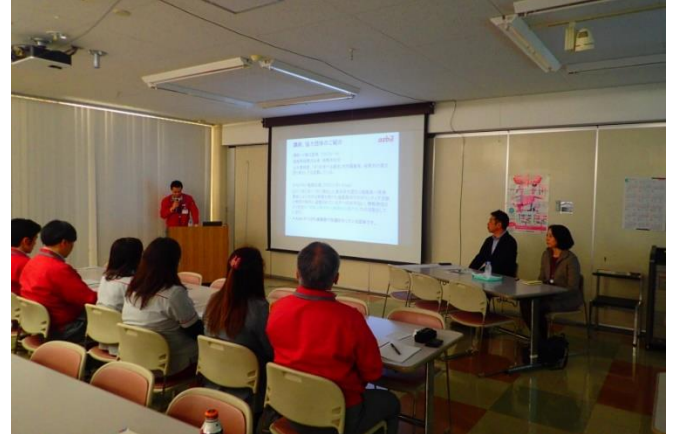


20190322 葛尾村





20190328azbil 防災企画



20190328azbil 防災企画

#### 4.1.5 事業3：視察研修



20190216 福島 93 便 (視察研修 6 号)



20190216-2 福島 93 便 (視察研修 6 号)



20190217 福島 93 便 (視察研修 6 号)



20190217 福島 93 便 (視察研修 6 号)

#### 4.1.6 事業4：情報発信（総会・勉強会・講演会）



20180623 総会



20180623 勉強会



20190117 第7回講演会（小幡広宣さん）



20190117 第7回講演会（小幡広宣さん）

#### 4.1.7 維持管理：現地訪問など



20180529 福島訪問1（ふたすけ）



20180907 福島訪問2（新地町）



20181111 福島訪問3 (相馬市、小幡さん)



20190322 福島訪問4 (ふたばいんふお)

#### 4.1.8 その他：有志活動など



20180729 有志便 (2018 相馬野馬追)



20180820 美味しいふくしま伝え隊



20181118 『新地町の漁師たち』横浜上映会



20181118 『新地町の漁師たち』横浜上映会



4.2 活動日程 (計画、一部抜粋、状況により変更あり)

2019年度-kfop事業計画日程

【kfop】

4月							5月							6月								
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21		
					132																	
8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31						
					川内村便																	
22	23	24	25	26	27	28	29	30	31													
					広域便																	
29	30																					
							訪問1															ビーチクリーン

<凡例> ※ボランティアは前月初1日に募集を開始する。視察便は前々月初。  
 XX(数字のみ): 定例会(土曜日15:00~18:00、県サポ11Fパートナーシップルーム)>  
 XXX: 広域便      XXX: 宿泊便      XXX: バス便      XXX: 視察便      福島訪問  
 総: 総会      講: 講演会      勉: 勉強会      懇: 懇親会      第四金(ふらっと食事会)  
 kfop2019年度(R01)活動スケジュールv20190511



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
《2018 年度(H30)活動実績・2019 年度(R01)活動計画》

《更新履歴》

更新日	更新内容	Ver	承認
2016.04.01	初版	v1.0	渡辺
2016.05.15	軽微な修正	v1.1	渡辺
2016.05.16	P43 6. 役員・スタッフ (1)役員・スタッフ更新	v1.2	渡辺
2016.06.01	P9 7. 団体登録先・情報登録先 追加 P40 (11) 事業合計 項番誤り修正 (②活動計算書→①活動計算書)	v1.3	渡辺
2017.04.01	2017 年度活動更新	v6.0	渡辺
2017.05.25	2017 年度活動更新 (誤字、不備修正等)	v6.1	渡辺
2018.04.01	2018 年度活動更新	v7.0	渡辺
2018.05.28	軽微な修正	v7.1	渡辺
2018.05.28	監事氏名等の誤字修正	v7.2	渡辺
2019.04.01	2018 年度活動報告、2019 年度活動計画更新	v8.0	渡辺
2019.06.10	報告書名、軽微な誤字修正等	v8.1	渡辺
	以下余白		



保護ページ